

2022年4月12日

J R 東日本メカトロニクス株式会社
株式会社アート

Suica
Smart Lock

～お手持ちの「Suica」でも、「顔」でも入退室認証～

『Suica スマートロック』と『X-LINE』の連携で、

顔認証、車両ナンバー認証等にも対応

J R 東日本メカトロニクス株式会社（以下、J R 東日本メカトロニクス）と株式会社アート（以下アート）は共同して「Suica」等の交通系 IC カードを入退室の鍵として利用できる『Suica スマートロック』を展開しています。

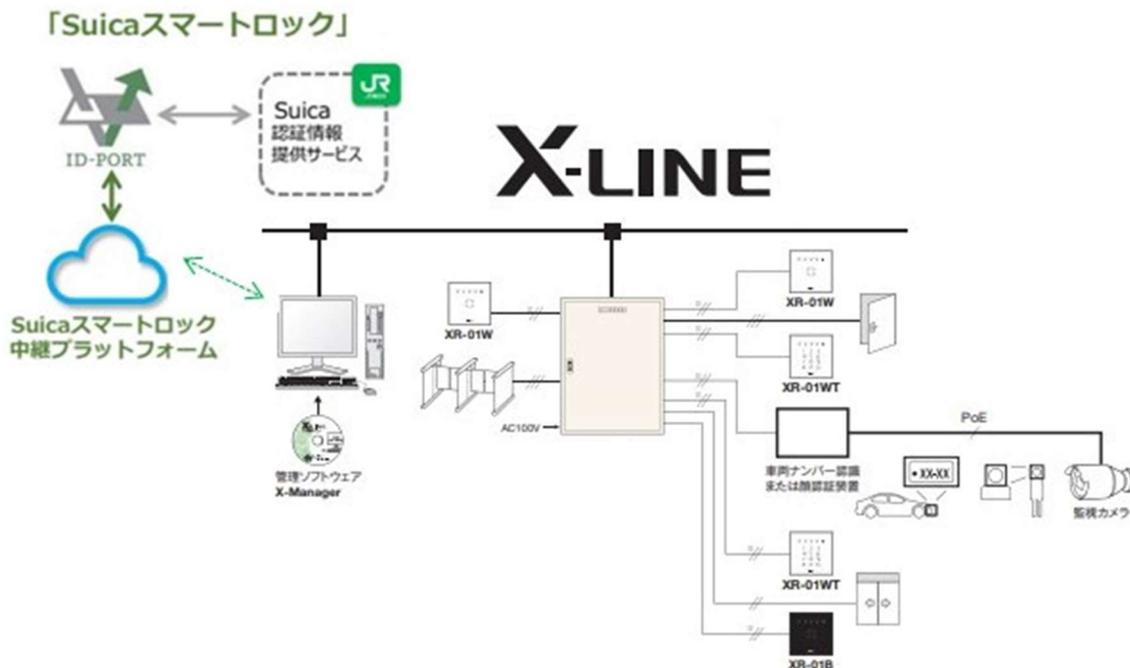
このたび、アートが展開する「X-LINE」と連携します。これにより、「顔認証」など様々な認証方式への対応ができるほか、大規模施設にも対応できるサーバ設置型の入退室管理システム等、導入事業者様の多様なご要望にお応えできるラインナップをご用意いたします。



1. 「Suica スマートロック」と「X-LINE」の連携について

従来は、アートの「アリゲイト」と接続するクラウド方式を中心にご提案して参りましたが、アートの「X-LINE」と接続することで、施設内へサーバを設置する方式での展開を開始致します。大規模施設をはじめとして、「X-LINE」が提供します各種サービスが幅広くご利用いただけるようになります。

【Suica スマートロックと X-LINE の連携イメージ】



2. 認証方式の拡大

Suica 等交通系 IC カードに加え、顔・車両ナンバー等による複数の認証方式での入退室管理が可能となります。例えば、エントランスは顔認証、オフィス入口はお手持ちの Suica や社員証、駐車場出入口は車両ナンバー認証等と、複数の認証方式を組み合わせられるようになり、システムを別々に導入、管理する必要がなくなります。また個人による複数の認証方式の設定も可能となり、登録・ログも一元的に管理することができるようになります。

【サービス開始時期】

- ① 顔認証 (2022 年 5 月予定)
- ② 車両ナンバー (2022 年 6 月予定)

READER リーダー(認証装置)	GATE ゲート 扉・フラッパー
交通系ICカードリーダーから生体認証リーダーまで豊富なラインナップ。用途に合わせてご選択頂けます。車両ナンバー認証も新たに仲間入り。	扉に設置された各メーカーの電気錠に標準で対応しています。自動ドア、セキュリティゲートなども対応可能です。
 交通系ICカードリーダー	 電気錠扉
 監視カメラで顔認証	 自動ドア
 車両ナンバー認証	 セキュリティゲート

■ 商品のご紹介について詳しくはこちらをご覧ください。

『Suica スマートロック』ホームページ
(<https://www.suica-lock.jp/>)

■ 既存機能と特徴

- ①お手持ちの「Suica」「モバイル Suica」を入退室の鍵として利用
既存扉への施工が簡易なスマートロックの特徴に加え、お手持ちの Suica やモバイル Suica をそのまま入退室の鍵としてお使いいただけます。管理側でのカード発行が不要になり、管理コストも軽減されます。
- ②Suica・モバイル Suica のオンライン登録が可能
Suica の ID をオンライン登録することで対面手続きが不要となり、接触回避や業務省力化につながります。お手持ちの Suica・モバイル Suica の ID をご自身で登録でき、複数枚登録することも可能になります。クラウドの活用により一時的な期間・時間限定での入室者登録ができる「ゲスト予約」機能等、より柔軟なご利用が可能になります。また、入退室のログも、サーバ容量に制限されることなく保管できます。

③多様なラインナップ端末の設定が可能

これまで、Suica 専用の端末や専用のサーバ群が必要でしたが、クラウド化することで、汎用のリーダーやスマートロックを活用できるようになり、選択が容易になります。用途に応じた多種多様な端末の選択が可能となります。

※「Suica スマートロック」は、JR東日本が提供する「Suica 認証情報提供サービス」の活用により、Suica のIDの安全な管理に配慮した仕組みを実現したJR東日本公認のサービスです。

【関係システム・企業情報】



【ID-PORT (アイディ・ポート) について】

Suica をはじめとした各種のID と各施設やサービスのID を連携することにより、認証することが可能となる新しいサービスを提供しています。具体的には、メール配信システム、バスシステム、時間課金型システム等、各システムとAPI 接続することで、単独でシステムを開発するよりも、効率的なサービス展開を実現しています。



【ALLIGATE (アリゲイト) について】

「ALLIGATE」は、アートが運営するクラウド型プラットフォームで、扉の鍵などの利用権の付与・抹消、利用履歴の確認などの入退室管理に必要な機能の共通化を行っています。また、機器の取り付けや運用後の現地での保守サポートも併せ持ったマネージド型プラットフォームです。

クラウド型のアクセスコントロールの実現に関しては独自の方式を考案して特許を取得しています。



【X-LINE (エックスライン) について】

入退室管理システム「X-LINE」は、オフィス・工場・学校など各施設の入口に設置したリーダーにより、個人を識別して入室の許可・制限を行い、いつ誰が入室したのかを記録管理するシステムです。制御する扉は電気錠・自動扉・セキュリティーゲートなど、どのような扉にも対応し、アンチパスバック・タイムスケジュール勤怠管理など、高度で多様な機能を実現する最新の入退室システムとなります。顔認証などのバイオメトリクスにも柔軟に対応しています。

【会社概要】

企業名 : JR東日本メカトロニクス株式会社
代表者 : 代表取締役社長 川野邊 修
本社所在地 : 東京都渋谷区代々木二丁目1番1号 新宿マインズタワー
設立 : 1992年4月1日
資本金 : 100,000,000円
従業員数 : 1,400名(2021年4月)(連結)
事業内容 : 企画からメンテナンスまでワンストップサービスを提供
駅機械設備製造、ICカード・電子マネーソリューション、コンサルティング等
ホームページ : <https://www.jrem.co.jp/index.html>

【会社概要】

企業名 : 株式会社アート
代表者 : 代表取締役社長 関本祥文
本社所在地 : 東京都品川区東五反田 1-25-11 五反田一丁目イーストビル
代表 TEL : 03-3447-1401
創業 : 1976 年 1 月 14 日
設立 : 2003 年 8 月 1 日
資本金 : 42,360,000 円
従業員数 : 150 名 (2022 年 4 月)
事業内容 : 各種建築物の出入管理システム及び統合管理システムの開発
上記システムに付随する各種装置の設計及び製造販売
介護用システム機器の製造販売、前記に関する施工及びサービス業務
建築金物及び建築設備資材の販売・施工
ホームページ : 「株式会社アート」 : <https://www.art-japan.co.jp/>
「X-LINE」 : <https://www.art-japan.co.jp/lp/x-line>
「ALLIGATE」 : <https://alligate.me/>

※「Suica 認証情報提供サービス」「ID-PORT」「ALLIGATE」を連携し、Suica での入退室を認証するスマートロックシステムについては東日本旅客鉄道株式会社、JR 東日本メカトロニクス株式会社、株式会社アートの三社が共同で特許出願中です。

※「Suica スマートロック」の名称は、東日本旅客鉄道株式会社が商標登録出願中です。(2022 年 3 月末現在)

※「Suica」・「モバイル Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※「ID-PORT」は JR 東日本メカトロニクス株式会社の登録商標です。

※「X-LINE」「ALLIGATE」は、株式会社アートの登録商標です。

※「ALLIGATE」は、株式会社アートが取得している特許技術を利用したサービスです。

【報道関係者 お問い合わせ】

JR 東日本メカトロニクス株式会社
経営企画本部 総務部 TEL : 03-5365-3802

株式会社アート
営業企画推進部 TEL: 044-434-6601